

戦後80年— いまこそ直視しなければならない 歴史がある

南京大虐殺から88年 2025年 大分証言集会

12月6日(土)午後2時30分(2時開場)から5時

アイネス(大分県消費生活・
男女共同参画プラザ)
大會議室 大分市東春日町1-1 NS大分ビル2F
(定員 270名)



証言■

ゴー・フェンジン

葛鳳瑾(南京大虐殺幸存者 葛道栄さんの息子)さん

「父葛道栄の受けた被害」

……父のおじはめった切りにされて殺され、もう一人の
おじも死体の山のなかに。母のいとこは遺体も見つか
らず、残された家族は悲惨な生活を強いられた。……

リン・ボーヤオ

講演■ 林伯耀さん

(南京大虐殺60か年全国連絡会前共同代表)

「日本軍加害兵士証言について」



資料代 1000円(学生 500円)

主催: 大分証言集会実行委員会
後援: 大分合同新聞社

よびかけ人: 神戸輝夫(大分大学名誉教授、元APU孔子学院院長)
/ 徳田靖之(弁護士) / 総田芳憲(立命館アジア太平洋大学教授)
/ 岡村正淳(弁護士) / 松本文六(医師) / 宮崎優子(赤とんぼの会世話人)
/ 森川登美江(大分大学名誉教授・記録作家 林えいだい記念ありらん文庫主宰) / 木野村間一郎(ノーモア南京の会)
/ 池田年宏(戦争止めよう!沖縄・西日本ネットワーク運営委員)

連絡先: 090-6123-4313(木野村)、080-1760-5540(佐伯)

■協賛をお願いします

協賛金(団体1口5000円、個人1口1000円、何口でも可)
口座番号: 九州労働金庫大分支店 普通 口座番号 6593891
名義 平和をめざすつどい 会計 佐伯洋子



日本軍は難民たちを捜索し、兵士と見なすものを
引っ張り出して連行した……

今年は日本の敗戦後 80 年となります。日本は朝鮮、中国、アジアへの侵略戦争でたくさんの命を奪い、言語に絶する人権蹂躪を行ってきました。そして、その戦争の反省から平和憲法を制定し、二度と戦争をしないと誓いました。ところがいま、日本では「平和主義」をかなぐり捨てた軍拡が進み、外国人に対する差別排外主義の声が高まっています。いったい歴史の反省はどうなったのでしょうか。かつての戦争と戦禍のなかの民衆の命のことを忘れたのでしょうか。

88 年前の 7 月、盧溝橋事件がおきました。日本では「暴支膺懲」(あばれる中国を懲らしめる)という言葉がはやりました。そして中国大陸にたくさんの軍隊を送って、12 月 13 日、中国の首都南京を陥落させました。日本国内では「南京陥落万歳」と大喜びして、昼は日の丸を打ち振り、夜は提灯行列で祝いました。しかし、そこには世界中から「人類と文明に対する冒瀆」といわれた悲惨な「南京大虐殺事件」がありました。

日中戦争は泥沼になり、結局たくさんの命が失われました。「三光作戦」といわれる「焼き尽くし、奪いつくし、殺しつくす」という日本軍の蛮行で、家を焼かれ、村を焼かれ、家族を失い、一家離散し、孤児となったひともたくさんいます。日本軍兵士もたくさん異国の方で亡くなりました。



しかし、「日本が中国を侵略したというのは嘘だ」、また、「中国が攻めてくる」と主張する人たちがいます。こうして、歴史をつくりかえ、侵略の歴史をなかったことにして、また同じことを繰り返そうとするのでしょうか。

いま、日本は軍事大国への道をひたはしっていませんか。人々の生活を置き去りにして、軍事費だけは青天井でうなぎのぼり。アメリカから兵器を爆買いし、その兵器をもって「台湾有事」という言葉におどらされて自衛隊がまた最前線に行くのですか。

「あばれる中国を懲らしめる」とばかりに、大分では全国に先駆けて、中国を念頭においた長射程の攻撃用大型ミサイル弾薬庫建設、湯布院には、九州、沖縄のミサイル連隊の司令部も設置され、ミサイル連隊が配備されています。事故続きの危険なオスプレイも湯布院や大分、別府で低空飛行訓練をするそうです。身の周りで戦争の準備がどんどん進んでいます。別府国際観光港には空母化した護衛艦「かが」にたくさんの参観者がやってきました。自衛官に抱っこされて喜ぶ子どもたちがいます。私たちの未来はそこにあるのでしょうか。

80 年前に終わった、かつての日本がやってきた戦争がどのようなものだったのか、もう一度考えてみませんか。戦争の実相を語る被害者の声に耳をかたむけてみませんか。私たちの未来は、東アジアの平和と日中友好の未来とともにあるのではないでしょうか。

12 月 6 日 (土)、多くのみなさんの参加をよびかけます。

「紫金草 (しきんそう)」は「平和の花」として、南京大虐殺紀念館のシンボルの一つです。

